

岐阜県代協ニユ

平成23年11月

vol.200



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

第一回日本代協コンベンション開催される

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ 大江 かねお 金男

11月18日、19日に「代理店の価値を考える」というテーマで、第一回日本代協コンベンションが東京で開催され、岐阜県から日本代協岡部会長、道家常任理事を含め岐阜県代協から10名が参加しました。

各県代協が一般社団法人化し、日本代協の会員は各県代協が正会員となったため、平成21年総会以後各県代協の会長一人の総会参加となりました。

平成20年度までの総会は各県の代協会員全員が正会員でしたので、誰でも総会に出席することができ、欠席の場合は委任状提出ということになっていました。したがって毎年の総会には全国から数百人の出席があり、総会終了後に正会員懇談会と称し、誰でも業界のことや日本代協に対する疑問や意見を自由に発言する時間が設けられていました。また、損保協会の主催で懇親パーティーが催され、翌日はセミナーが開催されていました。

総会の形態が変わったため、全国からかつての正会員懇談会や懇親パーティー、全国的なセミナーを復活させてほしいという意見が寄せられていました。

そうした中で新しい試みとして、第一回日本代協コンベンションが開催されたものです。

3.11東日本大震災により、被災地域の代理店は自ら被災しながらも、さまざまな手段での全国に避難した契約者の安否確認や保険金支払い、地域での他社保険を含めた相談活動や保険金支払いのお手伝いと活躍され、地域住民や保険会社からも大きな信頼が寄せられました。

今回のテーマ「代理店の価値を考える」はタイムリーなものです。コンベンションは3部構成で、第1部は式典・代協会員懇談会・被災地域代理店5氏によるパネルディスカッション、第2部は懇親会、第3部は基調講演と分科会（4ゼミ）です。

これまでとの大きな違いはパネルディスカッションの導入と、懇親会が全員会費制で損保協会に依存していたことから自立、さらに基調講演のほかに分科会を設けたことです。

今回のコンベンションは大成功で、岡部会長のもとで第1回が実施されたことに、岐阜県代協としても大きな誇りです。

岐阜県代協の参加者は他の代協に比べ、私を除き今後の岐阜県代協や日本代協で活躍していただける若い方々を各支部からお願いしました。

今後も若い仲間が参加されるよう期待しています。

参加された方々の感想文を次号に掲載予定です。



目次

1 p	・ 会長挨拶／目次	9 p	・ 中さんの保険諸国漫遊記 (67)	①
2 p	・ スケジュール／事務局より	10 p	・ ～保険ジャーナリスト 中崎章夫 ～	②
3 p	・ 支部活動報告①	11 p	・ なるほど『ぎふ雑学』(32) ～松尾 一～	
4 p	・ 支部活動報告②／ゴルフ同好会	12 p	・ SHINWA グループ	
5 p	・ 委員会報告①	13 p	・ 損害事故復旧サービス～ホームステップ(株)伊ダ～	
6 p	・ 委員会報告②	14 p	・ 交通事故による損害復旧工事～(有)岐垣創建～	
7 p	・ 代理店紹介	15 p	・ ホームページリニューアルについて／編集後記	
8 p	・ 会員投稿記事			

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付		主催	行事・議題・内容など	開催場所
11	1	火 岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	2	水 西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	8	火 日本代協	保険大学校セミナー(第13期生第4回)	ウインクあいち 902 会議室
	8	火 ゴルフ同好会	ゴルフコンペ(9:00～)	谷汲CC
	9	水 日本代協	保険大学校セミナー(第14期生第1回)	ウインクあいち 902 会議室
	9	水 県代協	役員選考委員会(14:00～)	岐阜県代協事務局
	9	水 中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	10	木 東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	11	金 県代協	消費者団体懇談会	県民ふれあい会館
	16	水 県代協	三役会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	18	金 日本代協	日本代協コンベンション	ヤクルトホール(東京・新橋)
	22	火 県代協	年会費検討諮問委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
	27	日 西濃支部	支部研修旅行(8:00～一泊)	大阪、神戸、京都
	29	火 県代協	第1回役員選挙管理委員会(14:00～)	岐阜県代協事務局
12	3	土 東海ブロック	東海、北陸合同ブロック会	日間賀島 風車
	6	火 岐阜支部	岐阜支部役員会(11:00～)	長良川スポーツプラザ
	6	火 岐阜支部	合同ブロック会(12:00～)	長良川スポーツプラザ
	7	水 県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター
	7	水 西濃支部	例会(11:30～)	鶴見天近
	8	木 東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	14	水 中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
1	12	木 県代協	認定証授与式&賀詞交歓会	グランヴェール岐山
	24	火 東海ブロック	東海ブロック協議会	愛知県代協事務局

～ 事務局より ～

※平成23年 12月 22日(木) に平成22年度第Ⅲ期の会費を、ご指定口座より振り替えさせていただきます。 政治連盟にご加入の会員の方は併せて振り替えさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

(ご不明な点は、県代協事務局までお尋ね下さい。)

岐阜県代協教育委員会/事務局 TEL : 058-294-1221 FAX : 058-294-8051
Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp

支部活動報告

【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年11月 1日 (火) 12:00～

開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏

出席者数 : 9名

報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

《議題》

- ① 12月6日 代申別の東西合同ブロック会を 長良川スポーツプラザにて開催。
- ② 次年度支部編成について……33名ほど未決定。12月までには、遅くとも決定するため、見込み代理店のフォローを早めにする。
- ③ 会員増強について……気になっている代理店に再度アプローチをする。

※次回役員会は 平成23年12月 6日 (火) 11:00～

場所 長良川スポーツプラザ レストラン杏にて

【西濃支部11月例会報告】

日時 : 平成23年11月2日 (水) 12:00～13:00

場所 : 鶴見天近

参加者数 : 18名

報告者 : 後藤 益充

《議題》

- ① セミナー開催のお礼について
- ② 火災保険利用の無料修理について
- ③ 研修旅行のご案内

日時 11月27日 (日)～28日 (月) 午前8:00

場所 神戸、大阪、京都

出発場所 大垣総合体育館

- ④ 新年会のご案内

日時 1月13日 (金) 18:00～

場所 一天張

- ⑤ その他各社の動向

※ 次回の例会は12月 7日 (水) 11:30～ 場所 鶴見天近



【中濃支部例会報告】

日 時 : 平成23年11月 9日 (水) 10:30～

場 所 : 美濃加茂市 美濃太田宿

参加者数 : 9名

報告者 : 吉田 春次

《内容》

- ①役員選考について……支部長についてまだ決まっていない点に、
出席者より 代理店経営にプラスになると思う。
欠席されている方にも話していこう。
この人と思う人に話していこう、説得していこうとなりました。
- ②委員会報告……組織状況 「1名脱会の為」3月までに拡大をしていこうとなりました。
- ③その他情報交換……出席者より 手数料の引き下げに未来の展望がたたない、
切実な声があり、代協活動を通して、皆で経営の模索、生き残りに力をそそぐ。
今回、参加者が少なかったと思いました。次回は是非出席をお願いします。

※12月例会は、12月14日(水) 10:30～ 美濃加茂市美濃太田宿にて

1月新年懇親会は、平成24年 1月 6日(金) 11:00～ 昇月「美濃加茂市太田町」にて行います。

【東濃支部例会報告】

開催日時 : 平成23年11月10日(木) 11:30～

開催場所 : 釜戸 みわ屋

参加者数 : 10名

報告者 : 伊藤 智之

《内容》

- ①1/12 賀詞交歓会案内
②10/6・10/26 セミナー報告
③新入会員オリエンテーションの案内
④代協年会費について
⑤その他情報交換



※ 次回例会案内 12月 8日(木) 11:30～ 場所:釜戸 みわ屋にて

【ゴルフ同好会】

第19回ゴルフ同好会開催報告

開催日 : 平成23年11月8日(火)

開催地 : 谷汲カントリークラブ

参加者 : 23名

報告者 : 森 信彦

《成績》

優勝 : 斎藤 守 (画像中央) グロス 106 ネット 68

準優勝 : 棚橋 敏雄 (同 右) 107 71

3位 : 笠城 茂 (同 左) 82 72

次回は節目の第20回大会となります。来春を予定しております。
多数のご参加をお待ちしております。



委員会報告

【CSR委員会】

- ① 東日本大震災の義援金募金とエコキャップ回収の御礼
- ・秋のセミナー東濃会場（10月6日）と岐阜会場（10月26日）において、それぞれ 4,421円、8061円の計12,482円の募金が集まりました。あわせて日本代協へ送金させていただきます。
 - ・エコキャップは5,000個を「岐阜県若者サポートステーション」さんへ送らせていただきました。（活動をはじめて以来、累計66,000個になります）

② 『地震保険普及キャンペーン』について

- ・10月21日（金）午前8時00分～JR岐阜駅前にて今年度もパンフレットを配布いたしました。

岐阜支部役員、会員8名の参加協力をいただき、約30分間実施いたしました。

③ 『長良川を美しくしよう運動』について

10月23日（日）、午前6時30分～午前7時30分 第3回「長良川を美しくしよう運動」に参加しました。

開始前の降雨で開催が危ぶまれましたが決行。そのために参加者は7名でしたが、（森事務局長は水防団、遠藤CSR委員はライオンズクラブのため別会場で参加）高橋委員長といつも参加いただいている西濃支部会員の後藤さん親子そして私小林でがんばりました。

9月末よりCSR活動が目白押しでしたが各支部の応援、多数の会員の皆様のご協力のおかげで無事終えることができました。厚く御礼申し上げます。

（報告者名 : CSR委員会担当副会長 小林 悦雄）



【教育委員会】

《日本代協保険代理士認定授与式について》

第12期認定保険代理士の合格を祝し、認定授与式を下記の通り行います。
保険代理士を広く認知していただくために保険会社各社からも授与式にご出席賜り、われわれ会員と共に祝福したいと存じます。
おって、皆様にご案内を申し上げますので、認定者の方は全員出席の程お願いいたします。

記

日 時 : 平成24年 1月12日(水) 11:00から
場 所 : グランヴェール岐山
認定対象者数 : 28名

なお、今回開催場所グランヴェール岐山の駐車場が満車の場合、ホテル東側にあります紅葉園パーキングをご利用ください。その際には駐車券をフロントまでお持ちください。

（報告者 教育委員長 宇野 仁基）

代理店紹介

岐阜支部 有限会社 アーバンサービス

<代理店名>

有限会社 アーバンサービス

<事務所所在地>

〒501-6035

羽島郡笠松町円城寺217-1

TEL 058-388-5091

FAX 058-387-3390

E-mail urban-kato@na.commufa.jp

<代表者名>

加藤 木孝

<スタッフ>

3名 (男 3名)

<取扱保険会社>

損保 日新火災海上保険 計1社

<略歴>

平成11年 6月 日新火災海上保険入社(研修生)

平成14年 6月 独立・法人化

平成23年 11月 現在に至る

<事務所の環境>

J笠松競馬場前県道沿いにあり、
交通量が多いため認知度が高い。

<経営理念>

自利利他(じりりた)

人に良かれと思い、行動することが利他

「利他の実践がそのまま自分の幸せなのだ」という考え方



会員投稿記事

「テキトー健康法」

これまで「健康」にあまり気をつけた事が無かったが、急に体調の変化を感じ気になるようになった。やはり年なのかなあ～・・・



そこで最近読んだ記事より紹介したいと思います。
ある大学教授の話で、元気に長生きするには「仲間とよく飲んで騒いで、げらげら笑うことですよ。
あと、スケベで、無責任で、お金や権力が大好きな人が長生きしますね。」とあった。

え、そんなテキトーな話があるのかと思ったが、「長生き力とは免疫力」という理論的な裏付けからの話だった。免疫力とは、ウイルスや細菌、がん細胞などを排除する力のことで、それをつかさどる物の中で重要視するのは、リンパ球の一種の「NK 細胞」だそうだ。「がん細胞やウイルス感染細胞をやっつける働きをNK活性といい、これが高い人は抵抗力が強く、がんになりにくい。元気で長生きするにはNK活性を高めることが肝心です」

だが、NK活性は加齢とともに低くなり、不規則な生活やストレス過多もNK活性を下げる。鍵はいかにストレスを軽減するかということになる。ある生命保険会社の調査では、最も早死にしやすいのは「1部上場企業の部長」だという結果も出ているそうです。そこでこの教授は、何事もガマンしすぎず、楽しく明るく朗らかに過ごせということだ。なかでも最も大事なことは「笑うこと」だという。



食事面ではヨーグルトなどの乳酸菌、キノコ類などがNK活性を高める。
「コレステロールも実は高いほうが良い。コレステロールは各種ホルモンのもとで、脳の重要な栄養素。コレステロールの高い人は、ホルモンがよくできるからスケベで、頭がいい。そういう人はNK活性も高いんです。
コレステロールの高い人と話してみてください。話がおもしろい。コレステロール値とスケベと頭の良さと長生きは、確実にリンクします。」

NK活性を高めるには、「～ねばならない」ではなく、自分から主体的に人生を楽しむことが大切だそうです。

これから私もこの話を参考に楽しく笑いのある生活を送ろうと思います。



(投稿者名： I T O)

グループ経営内での募集委託規制の見直し論議

－ 新たに再浮上してきた総代理店制度問題 －

◇やっとならぬ墓石の修復なる

早いものである。3月11日の東日本大震災から8カ月余が経過した。宮城、岩手、福島の被災地復興も本格化しているが、私の茨城・那珂市にある実家でも、震度6強の地震で百数十年を耐え抜いてきた伝統工法の平屋の母屋はかなりの柱が傾き、市の罹災証明では半壊判定となった。今後の方針も定まらぬまま、当面、母屋の復元・修理は先送りしている。とりあえず裏の林にある倒れたままの先祖代々の墓石や庭の灯籠の復元修理を急がねばならなかったが、大震災以降石材店は注文に追われているらしくなかなか番が回ってこなかった。

ようやく、11月中旬になって着工し、3日ばかりで終了した。石材屋の職人2人で、どのように修復するのだろうかと思って見ていると、カニクレーンなる上海ガニのようなキャタピラ付きの実にコンパクトなマシーンを使い、施行時に折りたたんでいた4本の足を広げ、踏ん張り、クレーンを伸ばしてかなりの重さの御影石を次々に引き上げて、もとの姿に復元していく。職人は石に布のひもをかけ、あとは手元のリモコンボタンを巧みに使いマシーンを操り、また石と石の間は接着剤で固定していく。この工事を見るにつけ、このようなマシーンがなかった時代はおそらく木組みを使い、かなりの人数で石を積み上げていたのかと思う。それをやすやすとやっとならぬコンパクトな、かにクレーンの優れものがいたく気に入ったのであった。

◇金融審議会でのグループ経営に関する規制問題で論議

ところで、現在、金融審議会の「保険会社のグループ経営に関する規制の在り方」ワーキンググループの論議が展開されている。学識経験者や保険業界関係者などからなるこのワーキンググループでの論議は6月からほぼ月1回ペースで行われ、10月末時点で取っても、6回開催されている。論点は、保険会社グループ化に伴い、1) 海外M&Aに伴う海外子会社の業務範囲規制の見直し、2) 契約の移転単位規制の見直し、3) 保険募集委託の在り方規制の見直しの3点である。

損保も保険会社は3メガ体制時代を迎え、保険会社のグループ経営を見据えた新たな環境対応を図る必要が出てきた。こうした中で、グローバルな競争下で、また円高が進む中で、新たな市場、ビジネスチャンスを求め、日本の保険会社も海外保険会社のM&Aを活発化させてきている。

こうした中で、海外保険会社を買収するなどの場合、海外保険会社の業務範囲につき柔軟に対応することが可能になるよう、ルール化すべきこと、またその際の留意点などが検討されている。

また契約の移転単位規制問題は、保険会社を買収したり分社化したりする場合、現行では、包括移転のみ認められていたのを、商品単位や、個人・法人などの市場に応じて契約移転を可能とするよう規制（保険業法等）の見直しを求めるものとなっており、その際の想定される問題点、留意点などが論議されている。

◇保険募集委託の在り方での規制見直し

なかでも、代理店に関連するのが、保険募集委託の在り方規制の見直しのテーマである。これは、保険会社グループ内の保険会社間で代理店の再委託を認めるように規制緩和を求めるもので、過去にも平成15年3月28日の閣議決定となった規制改革推進3カ年計画で、総代理店を介した復代理による保険募集に係る委託契約を導入することの是非の問題につき、効率化が図れるとする一方で、保険会社のコントロールが効かなくなるという問題点を含めて論議され、その後棚上げされてきた経緯があった。

現在、持ち株会社制度のもとで、複数の保険会社が存在するようになっているが、現行の保険業法下で認められている業務の代理・事務の代行では、グループ内の保険会社であってもそれぞれが新たに代理店との委託契約を交わすことを求めており、グループとしての経営効率の観点からのみならず販売基盤の活用上の大きな障壁となっている。

◇グループ経営に限り代理店再委託の導入

銀行法においては、すでに銀行代理業の再委託制度が導入されており、保険においても、これを参考にしつつ、同様の代理店再委託（復代理）制度を同じ保険グループ経営に限り導入しようというものだ。新設間もない保険会社や買収で傘下に入った保険会社でもグループ内の中核保険会社が有する販売基盤を、中核会社に委託、その販売代理店に再委託する方式で、活用可能とすることで、商品ラインナップを効率的に保管できるとともにグループの総合力発揮、ひいては全体の企業価値の向上や投資インセンティブの構造にもつなげるのが狙いだ。

また顧客にとっては、再受託者としての一つの代理店が幅広い商品を提供でき顧客の選択肢拡大につながるとともに、中核保険会社が再委託者として既存代理店網を直接管理・指導することで募集品質の向上も図れること、そして効率的なグループ経営が可能となることで、コスト削減による保険料面でのメリットや新たなサービスの提供も可能になるとしている。

◇グループの総合力高め効率経営可能に

そこでグループの総合力を高め、効率経営を可能にするために、グループ内に限り、保険会社間での保険募集の再委託、いわゆる復代理を認められないかどうか、保険会社がこのように第三者に業務を委託する場合に、業務委託にあたり健全性の確保、業務品質の確保や契約者保護、損害賠償責任等への一定の手当て等が検討されることとなっている。

代理店チャネルの在り方を考える上で、たんにグループ保険会社間の募集販売チャネル効率化にとどまらず、今後の保険会社と代理店、あるいは代理店同士の新たな委託の在り方を考える上からも一つの方向性を示唆するものでもある。

◇今後の一つの保険代理店モデルを示唆

それでは、今回のグループ経営に限定した委託の在り方規制の見直しはどのような影響をもたらすのであろうか。グループ内保険会社間の役割分担と、共通基盤の相互利用に拍車がかかることは間違いない。中でも、代理店という募集販売基盤は、新規参入保険会社にとり大きなハードルとなっている。そこで、総代理店制度を活用して中核保険会社の代理店基盤を他のグループ内保険会社が、効率的に活用できるようになれば、大きな効率化の果実が手に入る。

また、総代理店の傘下に多くの代理店がぶら下がることで、総代理店は、保険会社が行っている、代理店管理や、代理店委託や教育研修等の権能を提供される。

これにより販売機能を変動費の実の総代理店に一元化することで、コスト効率化を図れ、さらには保険会社と代理店の募集販売の2重構造の解消につなげることも可能になる。そこで保険会社本体の営業部門の人材を地域の総代理店で有効に再活用することも可能となるとともに、保険会社本体の収益改善も期待できる。

◇代理店業界再編に影響

すでに、3メガ損保とともに、保険会社本体の構造改革に取り組み、悪化する収益構造の抜本的な見直しを図る。こうした中で、ホールディングスの下でのグループ内複数の保険会社の経営の在り方を効率化するうえで、総代理店制度の導入は大きな変革要因になることは間違いない。すでに、現行法下でも、保険会社の主導のもとに、直資代理店モデルの整備を図り、そのネットワークも全国化している。現在、個々の代理店を傘下に置くためには、まず代理店を廃業してもらい、委託型使用人として代理店組織に吸収する方式をとっているが、この方式は過渡的な性格を色濃く持っていると言わざるを得ない。

個々の代理店は本来は独立の自らの代理店ブランドを保持したまま、中核代理店（総代理店）の下に結集した方がモラルアップにもつながる。それゆえ、グループ内限定での総代理店制度に道を開く今回の保険募集の在り方規制の見直しは大きな意味を持つてくるのは間違いない。今後の論議にもよろうが、明年には答申が出て、それに基づきしかるべく速やかに国会での保険業法改正手続きが取られるなら2014年をめぐりに代理店業界再編という大きな変化が訪れることになるろう。

（保険ジャーナリスト inswatch 編集人）

SHINWAグループ各工場のカラーリング腕自慢

SHINWAグループ 会長 伊藤 彰浩

平素はSHINWAグループをご利用いただきありがとうございます。

今回よりSHINWAグループ各工場の特徴（得意分野）をあらためて代理店の皆様にご紹介させていただきますので是非ご希望の作業の得意な工場をチェックしてみてください。

第一弾は **SHINWAグループの（S）の（株）オートボデーショップ篠田** さんの工場紹介よりスタートです。

1. 所在地

〒503-0817 岐阜県大垣市上面 4-60

TEL0584-74-7892

2. 業務内容

認証工場 岐第 6322 号 優良塗装工場
板金、塗装、車検、整備、用品取付などから
販売など自動車に関する事全てカスタム系や
痛車なども OK、オークション落札部品取付
も OK です。全塗装なども請負います。



3. 営業時間

AM9 時から 12 時、 PM1 時から 6 時

（定時で終了はまずありえないですが・・・）

営業時間外は電話でなんなりとご相談ください。

作業停止日は日曜及び祝日、第一月曜、

第四土曜が基本です。



4. 代車体制

全車 AT 車、スタッドレス設定、ETC 付禁煙車設定あり、プラズマクラスターリフレッシュ徹底化、ナビ付もあります。軽自動車もご用意させていただいております

5. 店主モットー

電話は元気よくハッキリと、レッカーなどの現場への引き上げは相手より先にを心がけ、代理店様、顧客様に「修理してよかった」とおっしゃっていただけるように全身全霊、全力全開で労働しております！



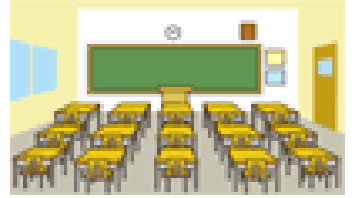
車のことはどんなことも、
SHINWA グループ各社に
ご相談ください。

なるほど『ぎふ雑学』（32）

松尾 一

学校で使われる「岐阜弁」とは、

学校では方言が聞かれる。それは出身県と同じ県内の学校に勤める先生が多いからだかもしれない。それも都会よりは地方の県に多いように思われる。岐阜県の場合は、小中高校の新人の先生方は、最初の赴任地に美濃出身者は飛騨に、飛騨出身者は美濃にというように遠隔地となっているようだが、その後は、おおむね出身地あたりの学校を転々と転勤することが多いという。だから飛騨では飛騨弁で、美濃では美濃弁というように、極めてご自然に方言を使い授業しているのであろう。しかも岐阜弁をよく使っているのは、高校の先生よりは小学校や中学校の先生に多いと感ずるのである。



そんな学校でよく使われている岐阜弁を紹介してみる。なお「B紙」は、13回で紹介したので割愛する。

机をつる＝机をもちあげる

「ハーイッ、教室を掃除するで、机をつって後ろへ運びャー」なんて、よく先生が使用している。他県から来た転校生が、この方言を聞いたら、びっくりする違いない。ひょっとすると、机を釣り上げるために、釣り竿を探そうとするかもしれない。

がばり＝画鋏（がびょう）

「黒板にB紙を、がばりで張ってやりャー」と使用している。余談だが学校の昼休みなんかには、がばりをティッシュ位の大きさの薄い紙の中央に指して、紙をくるくるとねじって棒状に丸めて、ダーツのようにして、黒板めがけて刺して遊んだ覚えがある。

黒板消し＝黒板拭き

よく考えてみると、黒板そのものを消す道具だと思ったりしてしまう。教室の窓側で、ぽんぽんとチョークで真白になった黒板消しを棒で叩く風景が見られるのである。

ペーシ＝ページ

「ハイ、こんどは120ペーシを開いて。」と、「ジ」を「シ」と濁らないように先生が使用するのである。といっても、すべての先生が使用しているのではないようで、授業参観などで、注意して聞いてみるといい。生徒の方は使用していないので不思議である。

ケッタ＝自転車

ご存知、岐阜、名古屋あたりの中高生や若者たちが頻繁に使用している「流行語」だった。「だった」というのは、すっかり方言として定着してしまったようで、『広辞苑』（第六版）という辞典に掲載されてしまったので、新しい方言と認知されたといってもいいだろう。「ケッタマシン」ともいうが、これは自転車ではなく原付バイクのことという説もある。婦人用自転車は「ママチャリ」といい、これも『広辞苑』に掲載されているが、「ママケッタ」とは言わないのである。

見える＝います

「モシモシ、先生、みえる？」と、頻繁に先生も生徒も使用している。他県人が聞くと、「この位置からは（視覚的に先生が）見えてないけど」という意味に取られてしまいそうだ。



（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）
著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!?!』『北陸街道紀行』等多数

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

車が居眠り運転にて、道路脇の家に隣接している倉庫と浴室にぶつかり大破してしまいました。日曜日でしたがつぎの日の朝から解体、養生を済ませ浴室は在来工法でタイル貼りでしたが、時間短縮と経費削減のため、ユニットバスに替え、ユニットバスが到着次第、工事に掛かりました。

< 場所 > 名古屋市内

< 費用 > ¥3,727,500-(税込)

被害状況



復旧後



☆季節のリフォームカレンダーを掲載します。ご参考になれば幸いです。

リフォーム・カレンダー

12月

1月

▼1日 <人権週間> ▼15日 <冬至> ▼1日

【冬に向かったの準備】

雪に備えて屋根、外壁のチェック / 部屋の改装計画

【この時期に適したリフォーム】

屋根工事 / 床暖房 / ※台所の大掃除も年末まえに

お気軽にご相談下さい。

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の

ホームステップ (株) イケダ

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

交通事故による損害復旧工事

No.0100

名古屋市南区地内 コンクリート擁壁・フェンス・アルミ門扉復旧工事
復旧工事費用 650,000円

作業前



作業完



- * コンクリート擁壁に衝突し擁壁側面に割れ、フェンスは建物側に倒れ、アルミ門扉に歪が生じた損害であった。
- * 植栽の植え替え及び花壇内のガス管復旧も必要となりました。
- * 住宅地内の狭い道路の為、交通誘導員を設置しての工事となりました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

オフィシャルウェブサイト リニューアル進行中！



新しいサイトのトップページ

広報機関誌委員会では、オフィシャルウェブサイトのリニューアルを進めております。先般頂いたアンケート結果をもとに、より見やすく、親しみやすいサイトの制作を行っています。正式公開は12月1日の予定です。

新しいサイトは、ドメイン名を新たに取得しました。（日本代協と同じ「or.jp」です）

<http://gifudaikyo.or.jp/> （ぎふだいきょう.or.jp）

すでにアクセスは可能ですが、修正を行っておりますので、正式公開まではテスト運用であることをあらかじめご了承ください。

広報機関誌委員会 副会長 笠城 茂
委員長 川島 邦夫

編集後記

朝夕は、冷え込んできましたが日中は日和もよく穏やかな毎日です。自然災害、不況、政治不信、暗い話題ばかりの社会情勢ですが、こんな時こそ保険代理店の使命を忘れず健康を保ち来年に向いましょう。（ゴマス）

発行日／平成23年11月25日

責任者／大江 金男 発行／広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://www.hokendaikyo-gifu.org/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦